平成30年度　特別研究推進費実績報告書

2019 年4月2日

北九州市立大学長　様

（所属・職名）　基盤教育センター・講師

（氏名）　木山直毅

平成30年度に交付を受けた特別研究推進費に係る研究実績について、次のとおり報告します。

研究課題名	英語直接話法における主語・動詞交替の認知言語学的研究
実施内容・研究成果の要旨（概要書を別途添付）	本研究では英語の直接話法を認知言語学の立場に立脚し調査を行った。その結果，2件の採択済み論文執筆，2件の国際誌への投稿（査読中），1件の国際会議での発表を行った。自己評価シートに記載した論文の(d)では直接話法における動詞を統計的に調査し類像性という概念によってのみ説明ができることを明らかにし，直接話法が主体性という概念と関わる可能性を論じた。しかしその後の会議で主体性に関する重要な問題点を指摘され軌道修正を余儀なくされた。その結果，類像性と情報構造という従来は別々の概念として扱われていたものを統合する可能性について論じることができ，その成果を国際雑誌へと投稿することができた。またデータベースから従来の直接話法に関する研究では捉えることのできない現象をデータベースから多く見つけることができ，そのデータをbi-sentential constructions（対構文）と考える重要性を国内の論文集へと投稿した（評価シートのc）。そしてさらにそのパイロットスタディを広げ，bi-sentential constructionsが談話とは異なる性質を持つことを論じ，これにより従来の先行研究で提唱されてきた理論では説明がつかず，さらに認知言語学の枠組みを広げるという提案へと発展させた論文を国際雑誌へと投稿した（評価シートb）。以上から本研究では（i）類像性と情報構造の関わり，（ii）bi-sentential constructionsの重要性という2つの理論研究を数量的観点・質的観点から論じた。

事項	合計	使用内訳（単位：千円）				
		備品費	消耗品費	報酬	その他	旅費交通費
交付決定額	863	0	230	0	410	223
支出金額						
執行残額	863		230		410	223

共同研究者	所属・職名	氏名	役割分担等